

われらの声を国政へ！たしろかおると共に未来を 切り拓く8．8大集会に参加！！

8月8日。埼玉県・大宮ソニックシティ大ホールにおいて、JR 総連・JR 東労組共催による「われらの声を国政へ！たしろかおると共に未来を切り拓く8．8大集会」が開催されました。JR 総連の各単組の仲間、全自交の仲間、全国から2,500名の組合員が参加し、JR 貨物労組・貨物労連はじめ、OB 会会員、現職組合員144名が参加しました。

主催者を代表して、JR 総連武井委員長は、「すべての取り組みをたしろ応援プロジェクトにつなげて、全機関がラストパートをかけよう」と挨拶しました。来賓あいさつは全自交労連・松永書記長がされました。

パネルディスカッションでは北海道労組・貨物労組・東労組・システム労がまとめた政策を提起され、たしろ参議院議員との意見交換をおこないました。

貨物労組からは①、海上コンテナの鉄道誘致に向けたインフラ整備及び設備投資支援について、②、青函トンネルにおける貨物列車の現行運行維持について、③、アポイダブルコストルールおよび貨物調整金の恒久化について、④、国鉄改革のスキームに沿った運行整備について、⑤、JA 貨物の構造的諸問題の解決について、5点に渡り要請しました。

最後にJR5単組と5連協がつくりあげてきた政策をたしろ参議院議員の手渡しました。

集会の後半では「ザ・ニューズペーパー」による公演が企画されていて、今の政治状況や安倍政権について、笑いを交えてはっきりと切っていただきました。

たしろかおる国政報告では「国政へ組織の代表として送り出していただきました。鉄道・交通の職域代表として国政に身を置き問題の解決に向けて取り組み、前進させてきました。本日の政策提言をいただきました。今後も精一杯たたかいぬきます。」とありました。

閉会あいさつはJR 東労組・吉川委員長が「リーダーは組合員と向き合い、たしろ応援プロジェクトの取り組みをつくりだしてきました。俺たちの手でたしろかおる応援プロジェクトの貫徹を」と力強く語られました。

たしろ応援プロジェクトをさらに強化していくことを集会参加者全員で確認し、集会は大成功裡に終了しました。